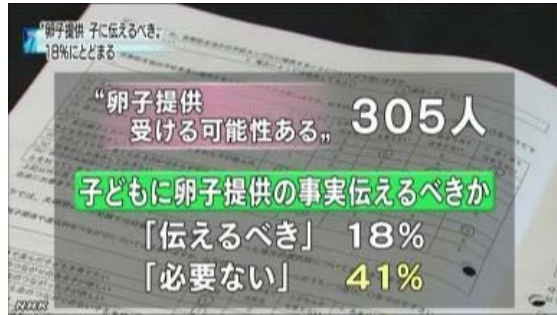


主要ニュース

ニュース詳細

# 卵子提供「子に伝える」18%

10月6日 12時38分



不妊治療で別の女性から卵子の提供を受けて子どもを産んだ場合、「その事実を伝えるべきだ」と考えている女性は、18%にとどまることが金沢大学のグループの調査で分かりました。グループでは「子どもの成長にとって幼い時期に伝えることが望ましいとされており、相談窓口を設けるなど支援体制を整えるべきだ」と指摘しています。

金沢大学のグループは、ことし春、全国の不妊治療中の女性740人を対象に、別の女性から卵子の提供を受けて妊娠を試みる卵子提供についてアンケート調査を行いました。

この中で、卵子提供を受ける可能性があると感じた305人に、子どもに卵子提供の事実を伝えるべきか聞いたところ、「伝えるべきだ」と答えた人は18%で、「伝える必要はない」と答えた人(41%)の半数以下にとどまりました。

その理由としては「子どもがショックを受けるのではないかと不安だ」という意見が多かったということです。

国内では一部の医療機関がガイドラインを作って卵子提供を実施していますが、その件数はごく僅かで、最近は海外で卵子提供を受けるケースが急増しているとされています。

調査を行った日比野由利助教は「子どもの成長にとって幼い時期に事実を伝えることが望ましいと国際的に指摘されており、伝えやすくなるよう相談窓口を設けるなど支援体制を整えるべきだ」と話しています。

【関連ニュース】

自動検索

【関連リンク】 ◇ 急増 卵子提供 クローズアップ現代 (1月10日)

TOPへ戻る

社会 | 科学・医療 | 政治 | Business

国際 | スポーツ | 文化・エンタメ | 動画

ご意見・お問い合わせ | NHKにおける個人情報保護について | 放送番組と著作権 | NHK オンライン利用上の注意

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved.  
 許可なく転載することを禁じます。  
 このページは受信料で制作しています。